

放射性廃棄物の保管状況（2024年3月31日現在）

弊社は、核燃料物質の使用許可を有し、核燃料物質を用いた試験・研究を行っています。試験・研究の実施等に伴って放射性廃棄物が発生しますが、この放射性廃棄物は最終処分までの間、弊社の保管場所で保管することとなります。放射性廃棄物の保管状況は以下の通りです。

[東海地区]

- | | |
|----------|---|
| (1) 保管場所 | 廃棄物保管庫、燃料ホットラボ施設（貯蔵プール） |
| (2) 保管容器 | 低レベルA：20リットルSUS缶（貯蔵プール内）
20リットルSUS缶入りキャスク（廃棄物保管庫内）
低レベルB：200リットルドラム缶（廃棄物保管庫内）
：フィルタ専用保管容器（廃棄物保管庫内） |
| (3) 保管能力 | 低レベルA：200リットルドラム缶換算83本相当
低レベルB：200リットルドラム缶3210本 |
| (4) 保管数量 | 低レベルA：200リットルドラム缶換算32本相当
低レベルB：200リットルドラム缶換算2691本相当 |

注)・低レベルA：主にホットセル内で発生した廃棄物

・低レベルB：上記以外の廃棄物



200リットルドラム缶及びフィルタ専用保管容器の保管状況



20リットルSUS缶入りキャスクの保管状況

[大宮地区](大宮地区研究施設解体時の廃棄物を保管)

- | | |
|----------|--------------------------------|
| (1) 保管容器 | ボックスパレット（角型容器） |
| (2) 保管数量 | 1,180個（200リットルドラム缶換算：9,196本相当） |